

平成29年度 事業再評価対象事業等一覧表

番号	事業名	所管局	再評価理由	事業費(億円)	事業開始年度	前回(H24)対応方針	a	b	c		d	e	備考(a~eの補足等)
							対応方針(案)	B/C	事業進捗率		事業内容の見直し等に伴う事業費の増減の有無(増減額)	完了年度延長の有無(完了年度)	
									前回評価時の事業進捗率	現在の事業進捗率			
1	[連続立体交差] 阪急電鉄京都線・千里線連続立体交差事業	建設局	④ [4回目]	1,625	H8	継続A	継続A	1.28	21%	47%	無	有 H32→H39	事業用地取得の遅れにより、今後の工程見直しを行ったため。
2	[住区基幹公園整備事業] 御幣島中央公園整備事業	建設局	④ [3回目]	15	H10	継続C	継続B	2.66	58.8%	66.6%	17億円→ 15億円	未定→H32	本市の財政状況を踏まえ、完成年度予定の精査を行った。整備水準の見直しを行ったため、総事業費が減少した。
3	[住区基幹公園整備事業] 大和川公園整備事業	建設局	④ [4回目]	268	H4	継続C	継続C	2.68	95.7%	98.8%	277億円→ 268億円	未定→H36	本市の財政状況を踏まえ、完成年度予定の精査を行った。整備範囲及び整備水準の見直しを行ったため、総事業費が減少した。また、一部阪和貨物線跡地については、国土交通省により高規格堤防事業にて、上面が公園整備されたことにより事業が進んでいる。
4	[港湾緑地] 鶴浜緑地整備事業	港湾局	④ [2回目]	12	H19	継続C	休止D	6.75	21%	23%	無	事業再開後 約10年	—
5	[街路事業] 淀川左岸線(2期)	建設局	④ [3回目]	4,312	H18	継続A	継続A	1.5	63%	75%	有 4,304億円→ 4,312億円	有 H32→H38	淀川堤防と道路トンネルが一体となる前例のない構造物に対する安全性確保が必要であり、淀川の重要性を鑑みた慎重な検討などを行ってきたため。
6	[街路事業] 淀川南岸線	建設局	③ [1回目]	62	H21	—	継続A	1.2	—	10%	有 58億円→ 62億円	有 H32→H43	都市計画変更により、淀川左岸線延伸部が新たに計画追加され、ランプを追加する等の変更を行ったため。

※再評価理由の番号については、次のとおり

【国庫補助事業】

①国庫補助事業で、所管省庁の基準により事業再評価が必要なもの

【国庫補助事業以外の事業】

②事業開始年度から起算して5年目の年度において未着工のもの(平成25年度に事業開始分)

③事業開始年度から起算して5年目の年度において継続中のもの(平成25年度に事業開始分)

④事業再評価を実施した年度から5年以上が経過し、なお継続中のもの(平成24年度事業再評価実施分)

⑤その他市長が特に必要と認めるもの